

# 目 次

I 沿 革 .....	1
II 組織・事務分掌 .....	2
III 職員の状況 .....	3
IV 決 算 .....	4
V 事業概要	
[1] 各部事業概要 .....	5
[2] 事業別概要	
1 戦略研究 .....	5
2 重点研究 .....	6
3 経常研究 .....	6
4 道受託研究 .....	9
5 一般共同研究 .....	11
6 公募型研究 .....	12
7 受託研究 .....	13
8 職員奨励研究 .....	14
9 循環資源利用促進基金事業 .....	14
10 その他の研究 .....	14
[3] 研修会の講師派遣等	
1 研修会、講演会等への講師派遣 .....	16
2 大学への講師派遣 .....	17
3 講演会、普及啓発事業等の開催 .....	17
[4] 委員会、協議会等への参加 .....	20
[5] 刊行物発行 .....	22
[6] 研修生及び研究生等の受け入れ .....	22
VI 調査研究・報告	
・北海道における有害大気汚染物質の現状 .....	23
－平成19～25年度有害大気汚染物質モニタリング調査結果より－	
芥川智子 大塚英幸 田原るり子 鈴木啓明 酒井茂克 川村美穂	
・家畜排せつ物法施行後における風蓮湖流域河川の水質環境変化について .....	37
三上英敏 五十嵐聖貴	
・クッチャロ湖湿原における14年間の植生変化 .....	45
島村崇志 西川洋子	
VII 学会等研究発表 .....	53
VIII 参考「北海道環境科学研究センター所報調査研究報告一覧（第18号～第36号）」 .....	61
「環境科学研究センター所報調査研究報告一覧（第1号・通巻第37号～第3号・通巻第39号）」	

# 地方独立行政法人北海道立総合研究機構中期計画（平成22年度～平成26年度） 研究推進項目（環境・地質研究本部関係一抜粋）

## 5 環境及び地質に関する研究推進項目

### (1) 循環と共生を基調とする環境負荷の少ない持続可能な社会の実現

- ア 地域から取り組む地球環境の保全に関する研究  
地球規模の環境変動による影響を把握し、将来にわたって良好な環境を維持するため、環境モニタリングや保全に関する調査研究に取り組む。
  - ・広域的な環境質の変動とその影響に関する調査研究
- イ 生物多様性の保全に関する研究  
北海道の良好な自然環境を将来にわたって維持するため、生物多様性の保全に関する調査研究に取り組む。
  - ・生態系の機構の解明及び保全に関する調査研究
  - ・野生生物種の生態及び保全に関する調査研究
  - ・野生動物個体群の保護管理に関する調査研究
- ウ 安全・安心な地域環境の確保に関する研究  
道民の健康の保護及び快適な生活環境の確保を図るため、環境汚染の低減と未然防止につながる発生源監視や環境モニタリングなどの調査研究に取り組む。
  - ・良好な大気環境の保全に関する調査研究
  - ・健全な水環境の保全に関する調査研究
  - ・化学物質の環境リスクに関する調査研究
- エ 循環型社会の形成に関する調査研究  
北海道における循環型社会の形成を推進するため、物質収支システム等の解明に取り組む。
  - ・持続可能な物質収支システム等に関する調査研究

### (2) 地質災害・沿岸災害の防止と被害の軽減

- ア 地震・火山噴火・地すべり等の地質災害の防止と被害軽減のための調査研究  
安全・安心な地域社会を目指し、地質災害の防止、災害発生時の被害の軽減を図るため、地質現象を観測し、特性の把握に取り組む。
  - ・活断層・地震断層の実態と活動特性の解明に関する調査研究
  - ・主な活火山の地球科学的観測と活動評価に関する調査研究
  - ・地すべり活動度評価に関する調査研究
- イ 海岸浸食・油汚染等の沿岸災害の防止と被害軽減のための調査研究  
安全・安心な地域社会を目指し、沿岸域における災害の防止、災害発生時の被害の軽減を図るため、沿岸域の特性の解明に取り組む。
  - ・沿岸域における土砂や漂流物質の挙動及び対策手法に関する調査研究

### (3) 資源の適正な開発・利用と環境保全

- ア 岩石・鉱物資源の開発と地質汚染対策のための調査研究及び技術開発  
持続可能な地域社会の実現のため、岩石・鉱物資源の利活用を図るとともに、環境に調和した開発利用と保全技術の開発に取り組む。
  - ・岩石・鉱物等の資源評価と利用及び特性に関する調査研究
  - ・地質由来有害物質の挙動の研究と鉱害防止対策技術の研究及び開発
- イ 地熱温泉・地下水の適正な開発・利用・保全のための調査研究  
持続可能な地域社会の実現のため、地熱温泉や地下水の持続可能な利用促進、資源評価及び保全に関する研究に取り組む。
  - ・地熱温泉の資源評価と適正利用及び保全に関する調査研究
  - ・持続的な地下水資源の利用と地下水環境に関する調査研究
- ウ 沿岸環境保全のための調査研究  
沿岸域の持続可能な利用を行うため、沿岸域や河川の地質現象を観測し、特性の把握に取り組む。
  - ・河川及び沿岸域における水質及び底質変動要因と対策手法に関する調査研究
  - ・沿岸域における海洋特性の長期的変遷に関する広域観測及び定点観測

### (4) 環境及び地質に関する情報基盤の整備と高度利用

- ア 環境及び地質に係る情報基盤の整備と高度利用に関する調査研究及び技術開発  
環境及び地質に関する情報の普及と利活用の促進のため、基盤となる情報の整備・公開に取り組むとともに、情報の解析・共有手法などの高度利用に関する調査研究及び技術開発に取り組む。
  - ・環境モニタリング、GIS情報等の整備・管理及び解析・適用に関する調査研究
  - ・基盤情報としての地質・地質環境・防災に関する情報の整備・高度化
  - ・環境情報の普及・利活用促進及び環境教育等に関する研究